令和2年度における活用状況

	事業名	事業費(千円)					
事業区分			森林環境 譲与税 (千円)	基金 取崩額 (千円)	その他 の財源 (千円)	事業内容	税導入の効果
	森林境界候補図 作成等業務	6, 820	6, 820	0	C	森林の境界に関する位置情報の精度向上を図るため、法務局の公図や村備え付けの地番図データを基に森林GISへ仮配置し、森林境界候補図を作成。併せて、土地登記簿データ・課税台帳を基に所有者の照合を行い、林地台帳の精度向上を図った。	- ・森林境界候補図を作成したことで、土地の地番や所有者の把握ができるようになり、今後実施する意向調査や森林整備につなげることができた。 - 住民のライフライン等生活に影響を及ぼす恐れのある危険木を事前に整備することで、安全安心と環境の改善が図られた。
私有林整備	危険支障木伐採 事業	308	308	0	C	自然災害等により倒木が懸念され、ライフライン等住民生活に影響を及ぼす恐れのある危険木について整備を行い、森林整備と環境の改善を図った。	
	南牧村森林環境 譲与税基金	9, 422	9, 422	0	C	令和3年度から実施する村独自の森林整備等(南牧村森林整備補助事業 外)や森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査、公共施設の木質化に備え、基金として積み立てた。	